

白 坂

——国道228号線改良拡幅工事に伴う
昭和56年度緊急発掘調査概報——

1 9 8 2

北海道松前郡松前町教育委員会

例 言

1. 本書は、昭和56年度国道228号線改良拡幅工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査概報である。
2. 調査は、昭和55年度～57年度の3カ年計画であり、遺跡とその面積は以下のとおりである。

昭和55年度 白坂第1地点 2,500㎡ 第7地点 2,000㎡

昭和56年度 白坂第2地点 1,700㎡ 第3地点 1,000㎡

第4地点 900㎡ 第5地点 800㎡

第6地点 800㎡ 第9地点 800㎡

(56年度は、工事立会第1地点南側旧庭芥拾得約700㎡、第3地点北側隣接部分約230㎡を調査した。)

昭和57年度 白坂第8地点3,600㎡

3. 調査は、函館開発建設部の委託を受け、松前町教育委員会が実施している。
4. 56年度は、発掘調査を4月15日～11月4日、整理作業を6月1日～3月31日にかけて実施した。
5. 56年度の発掘調査及び整理作業は、久保泰を担当者とし鈴木正語、松谷太、工藤ゆかり、中館吉達、谷岡康孝、石本省三、山岸英夫、斉藤久らが参加した。
6. 本書の執筆、遺構、遺物の製図、トレース、写真は、担当者久保の指示のもとに鈴木、松谷、斉藤が行なった。
7. 本書に収録した実測図、土器拓影の縮尺は、土器 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、土器拓影 $\frac{1}{2}$ 、石器 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、竪穴住居址、小竪穴 $\frac{1}{2}$ 、炉址 $\frac{1}{2}$ 、Tビット $\frac{1}{2}$ 、Cビット $\frac{1}{2}$ で示した。
8. 本書で使用する略号は以下のとおりである。

H (House Pit) : 竪穴住居址、小竪穴 P (Pit) : 土壇、土壇墓

T P (Trap Pit) : Tビット C P (Cocoon-shaped Pit) : まゆ状ビット

目 次

I 調査の経緯と方法	2
II 遺跡の基本順序	2
III 発掘調査	2
1 第2地点の調査	2
2 第3地点の調査	2
3 第4地点の調査	2
4 第5地点の調査	3
5 第6地点の調査	3
6 第9地点の調査	3
IV 若干のまとめ	4

挿図目次

第1図 遺跡位置図	1
第2図 第2地点 遺構配置図	5
第3図 第2地点 1号住居址	7
第4図 第2地点 2号住居址	8
第5図 第3地点 遺構配置図	9
第6図 第3地点 3号Tピット、1号炉址	11
第7図 第4地点 1号炉址、遺物出土状況	12
第8図 第4地点 遺構配置図	13
第9図 第5地点 遺構配置図	15
第10図 第5地点 1号住居址	17
第11図 第5地点 1号住居址内出土土器	18
第12図 第5地点 1号住居址内出土石器	19
第13図 第6地点 遺構配置図	20
第14図 第6地点 1号住居址	21
第15図 第9地点 6号Cピット、1号小堅穴	22
第16図 第9地点 遺構配置図	23
第17図 遺構外出土土器	25
第18図 遺構外出土土器	26
第19図 遺構外出土土器	27
第20図 遺構外出土土器	28



第1圖 遺跡位置圖

I 調査の経緯と方法

調査の経緯については前年度すでに述べられており、発掘調査についても前年度の調査方法に従って実施した。

II 遺跡の基本層序

各地点の基本的な層序は、第Ⅰ層(表土)、第Ⅱ層(Ⅱa層：火山灰層、Ⅱb層：黒ボク層、Ⅱc層：火山灰層)、第Ⅲ層(黒褐色粘質土層：遺物包含層)、第Ⅳ層(腐植をもつ塊状構造の暗褐色粘質土層：遺物点在、第Ⅴ層(ローム層：無遺物層)であるが、それぞれの調査地点の土層状態には差違が認められた。

III 発掘調査

1 第2地点の調査

位置と地形

本地点は、江良の市街地より北へ約3km字白坂に所在する。調査地点は、標高50～55mの海岸段丘上小沢の左岸に位置し、南西方向に緩やかに傾斜する。

遺構と遺物

調査によって竪穴住居址2、炉址5が検出され、伴出遺物などから1、2号住居址は中期末葉～後期初頭、2、3、4号炉址は中期末葉～後期初頭、1、5号炉址は恵山期のものと考えられるが、詳細については検討中である。

出土遺物は余市系を主体として、榎林系、大木10系、大津7系さらに晩期、恵山期の土器片約10,850点、剥片・剥片石器、礫石器約730点、自然礫多数である。

2 第3地点の調査

位置と地形

本地点は、第2地点の小沢を挟む北側標高54～58mの斜面上に位置し、西方向に傾斜する。

遺構と遺物

調査によって炉址2、Tビット5が検出され、伴出遺物などから1号炉址は後期と考えられるが、2号炉址は原形をとどめておらず時期は不明であり、Tビットについても確定した時期は不明で、詳細については検討中である。

出土遺物は、大津7系を主体として、貝殻文系、ムシリ系、円筒下層系、余市系の土器片約3,555点、剥片・剥片石器、礫石器約580点、自然礫多数である。

3 第4地点の調査

位置と地形

本地点は、第3地点から北へ約300m、小沢の合流する舌状部標高50～53mの緩斜面上に位

置し、西方向に傾斜する。

遺構と遺物

調査によって炉址1、ビット5、フレータ・チップの集中個所が検出され、伴出遺物などから炉址、フレータ・チップ集中個所は後期、ビットは後北期の墓堀と考えられるが、詳細については検討中である。

出土遺物は後北期を主体として、大津7系、恵山期、弥生期の土器片約1,920点、剝片・剝片石器、礫石器約220点、自然礫多数である。

4 第5地点の調査

位置と地形

本地点は、第4地点北側の小沢、小湿地と第6地点南側の小沢に挟まれた標高52～55mの丘陵部に位置し、南方向と北方向の両側に傾斜する。

遺構と遺物

調査によって竪穴住居址1、ビット22、Tビット7が検出され、伴出遺物などから住居址は中期末葉～後期初頭、ビット群は住居址に付設したものと考えられ、Tビットについて確定した時期は不明であり、詳細は検討中である。

出土遺物は大安在B系を主体として、ムシリI系、大木9系、ノダツII系、撥文期の土器片約2,935点、剝片・剝片石器、礫石器約140点、自然礫多数である。

5 第6地点の調査

位置と地形

本地点は、第5地点北側の小沢と第7地点南側の小沢の合流する舌状部標高52～55mの緩斜面上に位置し、北側に小湿地、西方向に傾斜する。

遺構と遺物

調査によって竪穴住居址1、炉址1、ビット15が検出され、伴出遺物などから住居址は中期末葉～後期初頭、ビット群は第5地点と同様住居址に付設するもので15号ビットは円筒上層d期と考えられ、炉址についての確定した時期は不明、詳細は検討中である。

出土遺物は円筒上層期を主体として、ムシリI系、榎林系、大安在B系さらに晩期、恵山期の土器片約5,175点、剝片・剝片石器、礫石器約260点、礫多数である。

6 第9地点の調査

位置と地形

本地点は、原口の市街地より南へ約1km字白坂の最も北側に所在する。調査地点は、奥末河口左岸の舌状部標高38～41mの緩斜面上に位置し、南西方向に傾斜する。

遺構と遺物

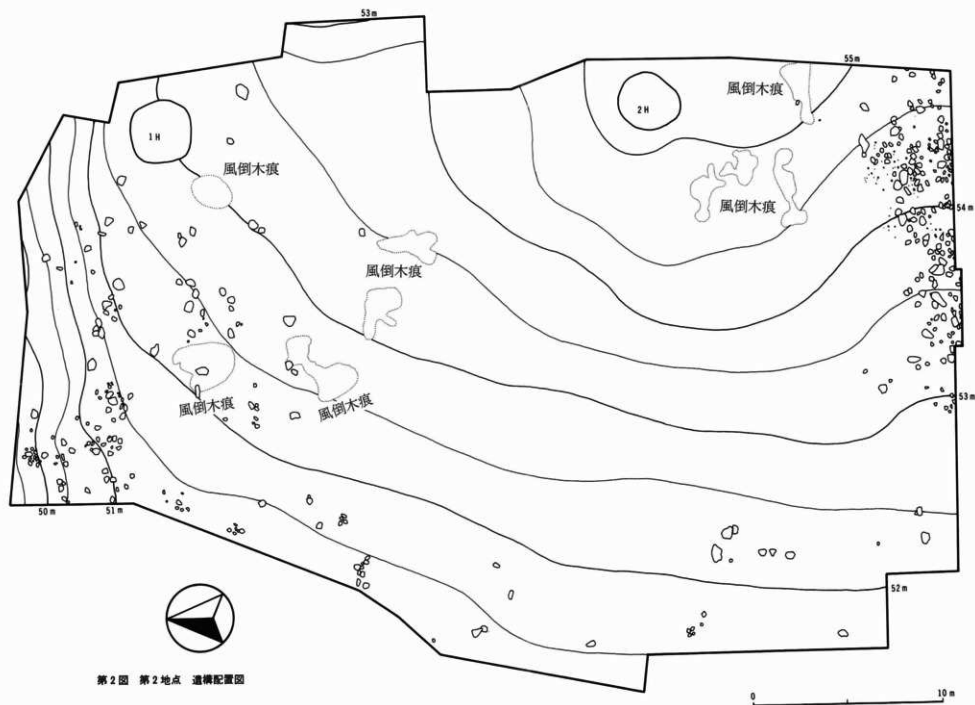
調査によって小堅穴1、ビット3、Tビット8、Cビット7が検出されたが、いずれの遺構についても確定した時期は不明であり、詳細は検討中である。Cビット（Cocoon-shaped Pit：まゆ状ビット）は、松前町大津遺跡より検出されているが、Tビットと類似した機能を持つ遺構と考えられる。

出土遺物は東鋼路Ⅱ系を主体として、十腰内Ⅰ系、余市系、恵山期の土器片約4,140点、剝片・剝片石器、礫石器590点、自然礫多数である。

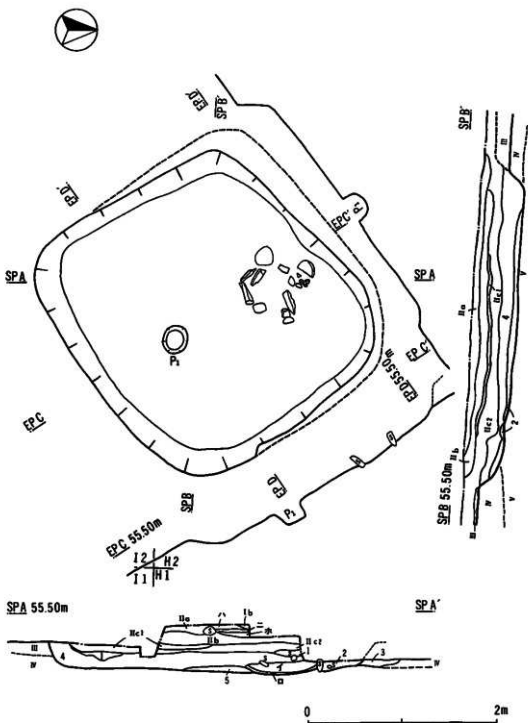
Ⅳ 若干のまとめ

56年度の発掘調査では予想以上の成果が得られ、検出された遺構は堅穴住居址4、小堅穴1、炉址9、ビット45、Tビット20、Cビット7、工事立会分ビット4、Tビット16、出土遺物は完形、準完形土器約75点、土器片約29,000点、剝片・剝片石器、礫石器約2,550点、自然礫多数である。調査によって得られた資料については、現在整理分析中である。

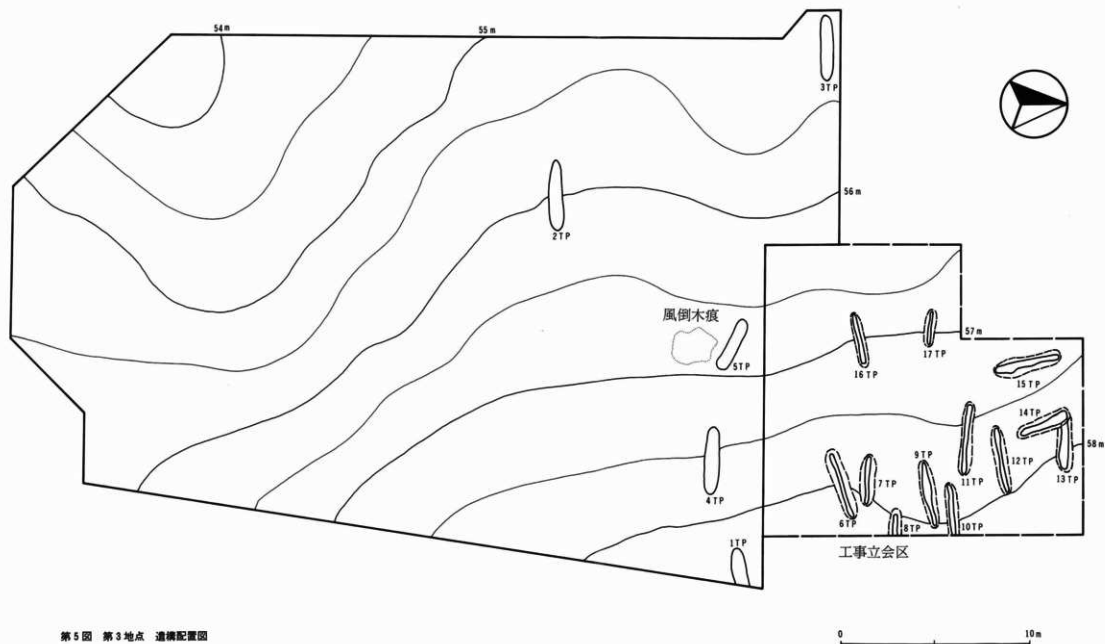
尚調査に参加してくださった作業員の方々には、心から感謝する次第である。



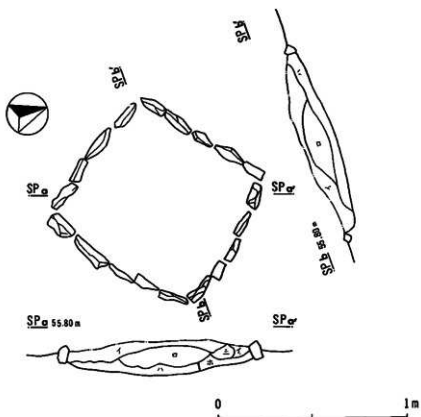
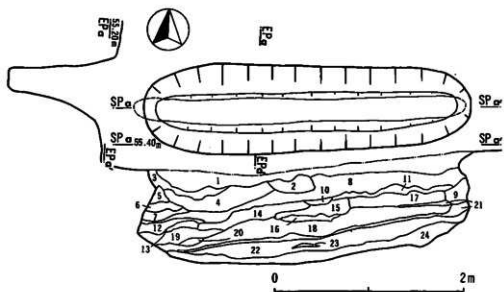
第2図 第2地点 遺構配置図



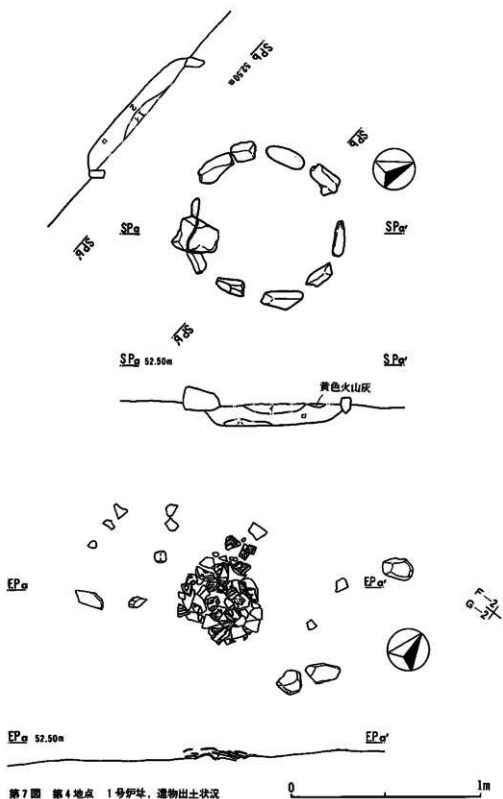
第4图 第2地点 2号住居址



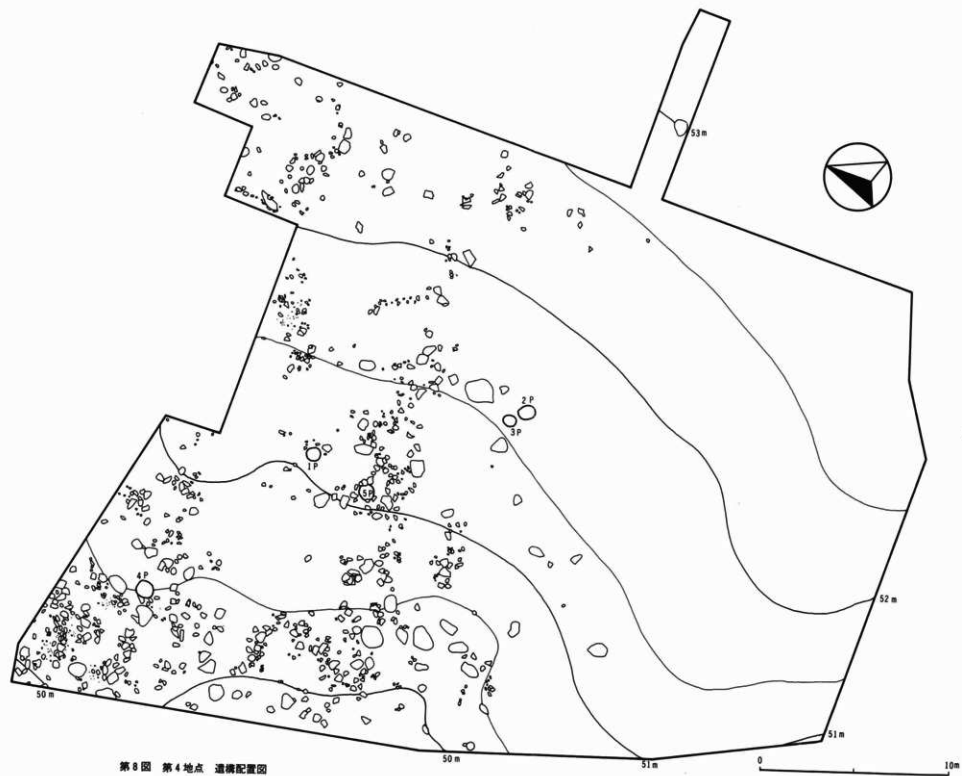
第5図 第3地点 遺構配置図



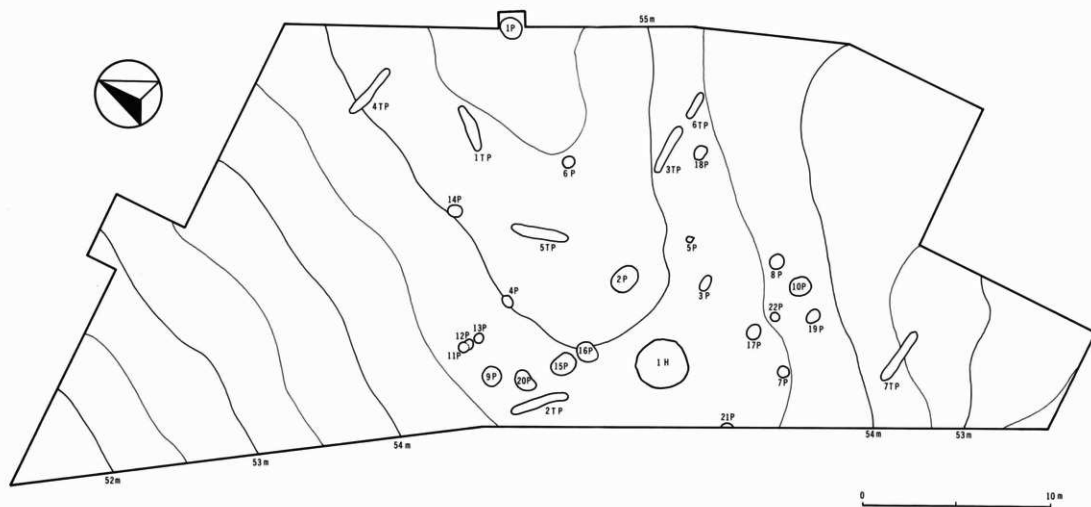
第6図 第3地点 3号Tビット, 1号炉址



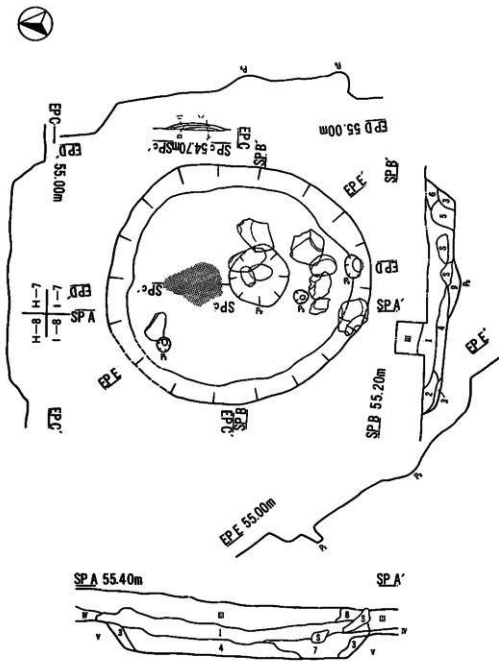
第7图 第4地点 1号遗址，遗物出土状况



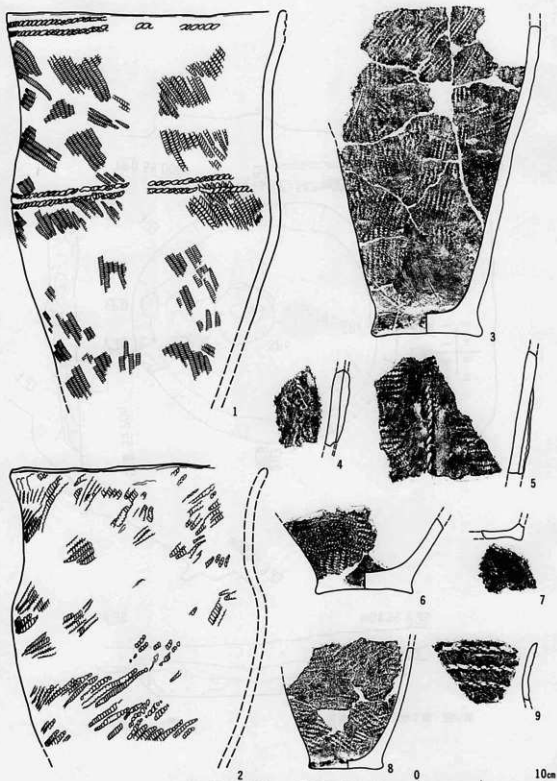
第8図 第4地点 遺構配置図



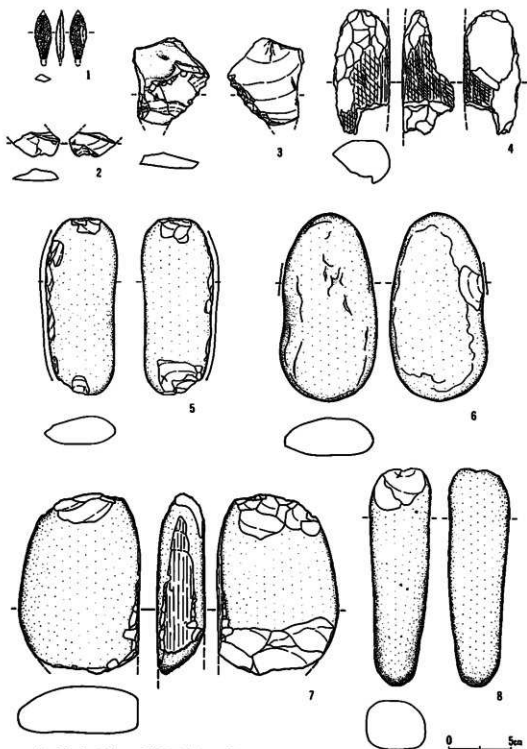
第9図 第5地点 遺構配置図



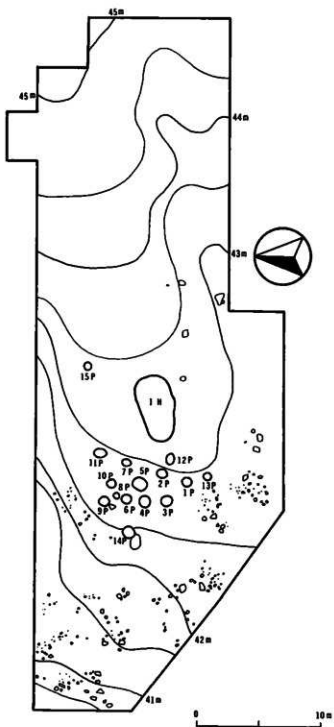
第10图 第5地点 1号住居址



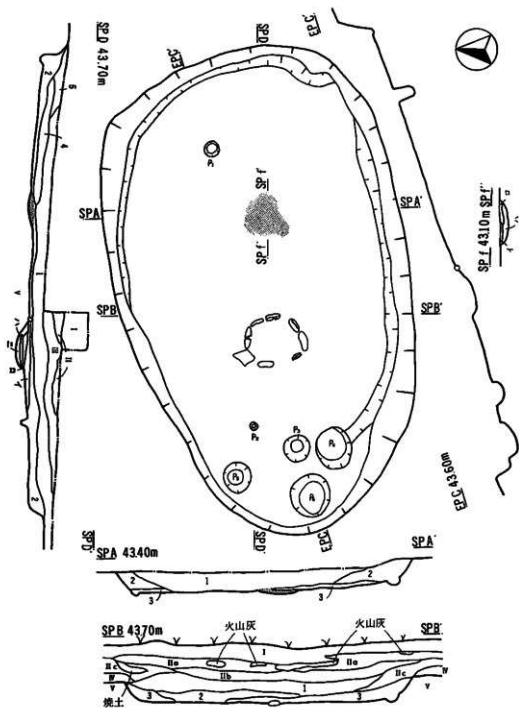
第11图 第5地点 1号住居址内出土土器
床面，床直（3，5，6，9） 覆土（1，2，3，4，6，7，8）



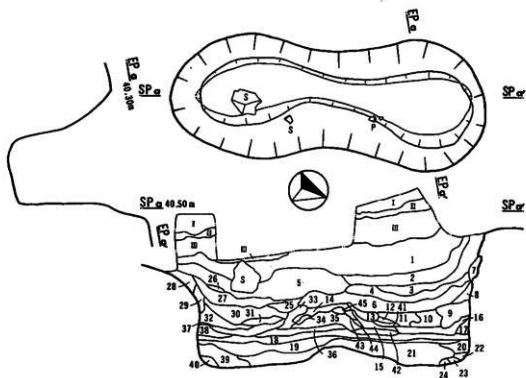
第12图 第5地点 1号住居址内出土石器

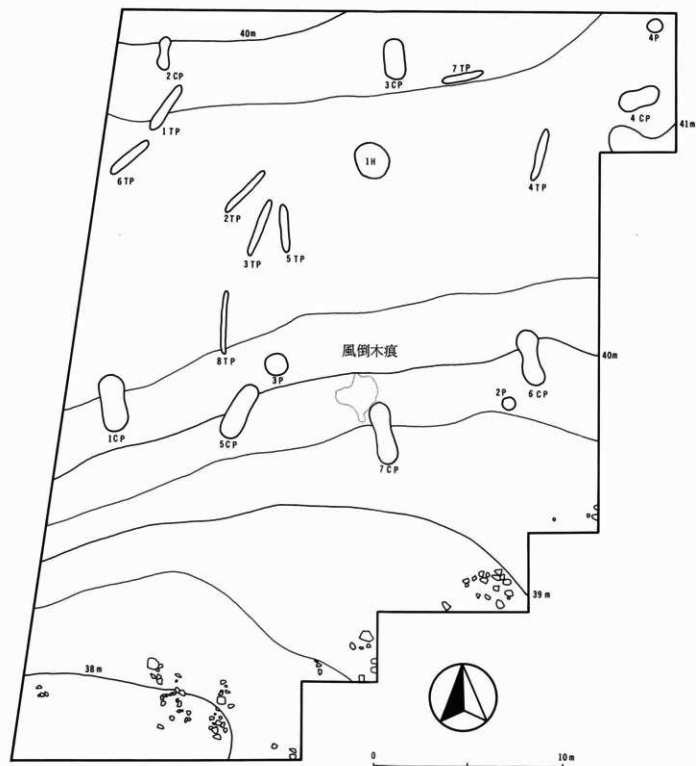


第13図 第6地点 遺構配置図

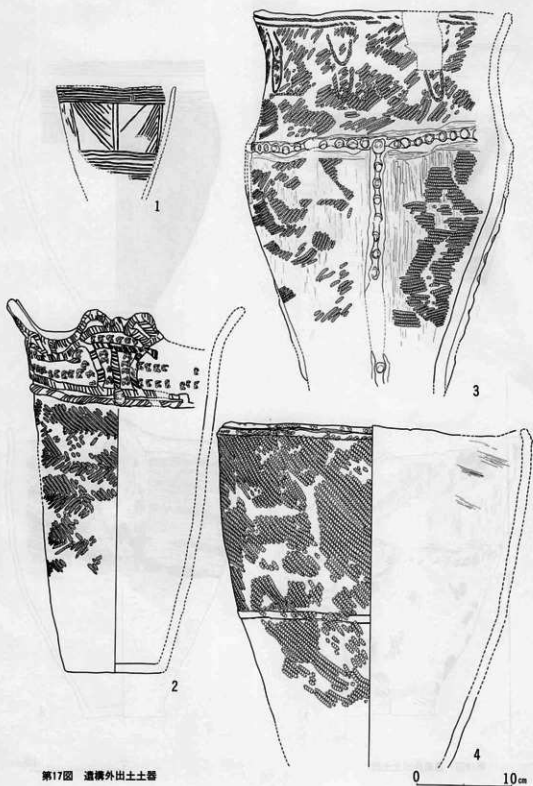


第14圖 第5地点 1号住居址

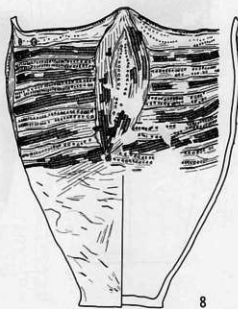
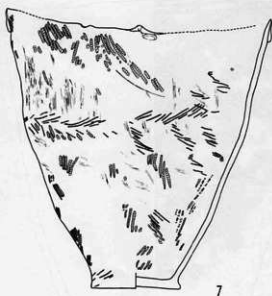
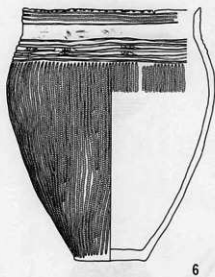
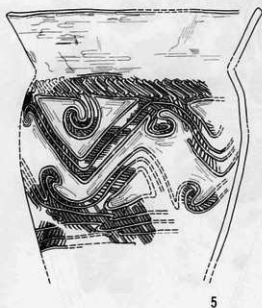




第16図 第9地点 遺構配置図

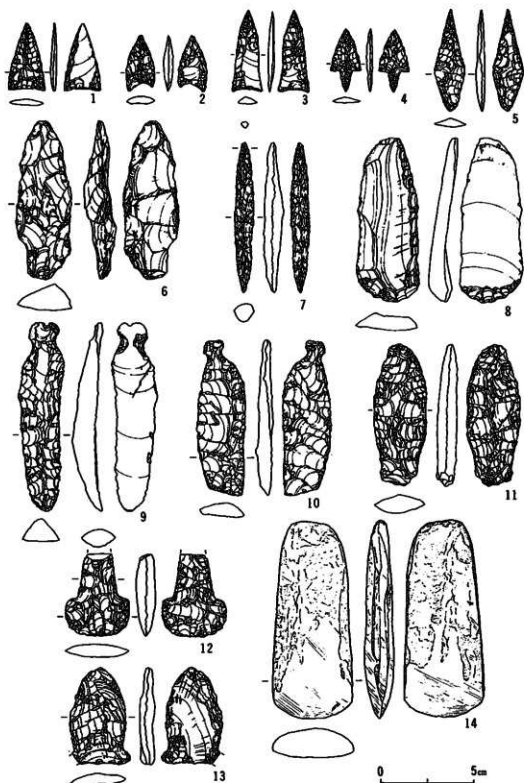


第17圖 遺構外出土器

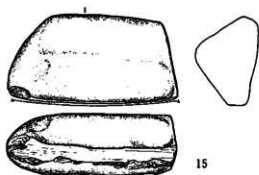


第18図 遺構外出土土器

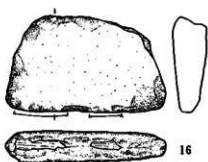
0 10cm



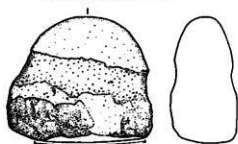
第19圖 遺跡外出土石器



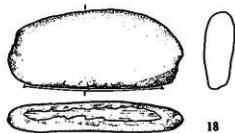
15



16



17



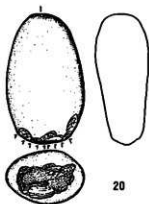
18



19



20



21

第20图 遼東外出土石器

0 10cm



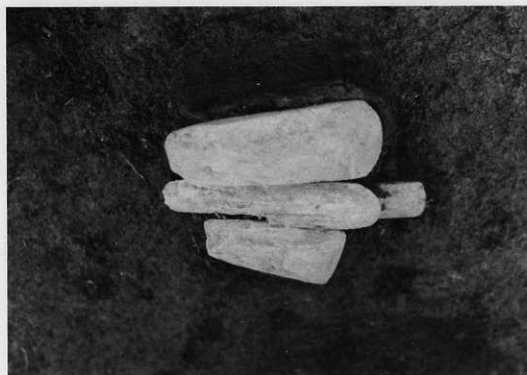
第2地点 調査状況



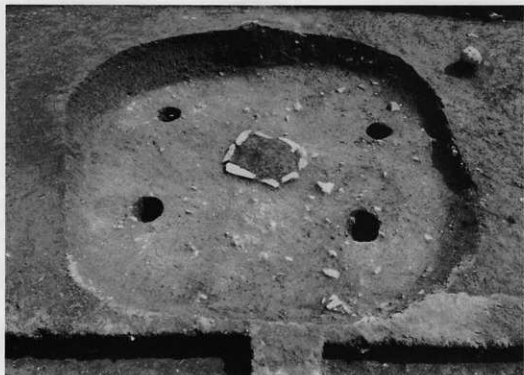
第6地点 調査状況



第2地点 遺物出土状況



第5地点 石斧出土状況



第2地点 第1号住居址



第2地点 第2号住居址



第5地点 第1号住居址



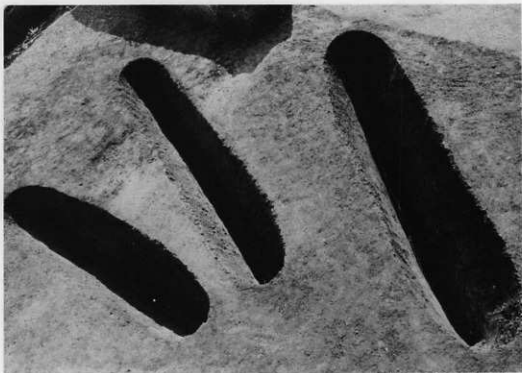
第5地点 第1号住居址



第6地点 第1号住居址



第9地点 第1号小壁穴



第9地点 第2、3、5号Tビット



第9地点 第5号Cビット

白 坂

——国道228号線改良拡幅工事に伴う
昭和56年度緊急発掘調査概報——

昭和57年 3月31日 発行

発行者	北海道松前町教育委員会
印刷所	北海道松前郡松前町神明 カ ジ ヤ 印 刷 松 前 町 字 福 山

1982.6.3 久保代より

白坂
—国道 228 号線改良拡幅工事に伴う
昭和 56 年度緊急発掘調査概報—
電子版

2025 年 2 月 20 日 第 1 刷

発行者 北海道松前町教育委員会
〒049-1594 北海道松前郡松前町字神明 30
TEL:0139-42-3060 / FAX:0139-42-2211
WEB:<https://www.town.matsumae.hokkaido.jp/bunkazai/>
MAIL:bunkazai@town.matsumae.hokkaido.jp

底本：白坂—国道 228 号線改良拡幅工事に伴う
昭和 56 年度緊急発掘調査概報—
(1982 年 北海道松前町教育委員会発行)

この電子書籍は閲覧を目的としているため、不鮮明な図版や誤字が含まれる場合があります。必要に応じて、お近くの図書館等で底本をご利用ください。